

令和7年度 豊田市総合教育会議

1 日時 令和7年5月28日（水） 午後3時15分～午後3時35分

2 開催形式 対面会議

3 参加者（敬称略 順不同）

豊田市長 太田 稔彦
豊田市教育委員会教育長 山本 浩司
豊田市教育委員会教育長職務代理者 佐伯 英恵
豊田市教育委員会委員 天野 勝美
豊田市教育委員会委員 榊原 昌子
豊田市教育委員会委員 吉田 貴子
豊田市教育委員会委員 原 紳也

4 議事録

（1）次期教育大綱について（意見交換）

教育政策課	<資料に基づき説明>
吉田委員	この「めざす学びの姿」が実現されることが良いと感じる。自分のことを理解しようとしてくれる人がいることが、自分の自信になる。また、社会に出た時に、根拠のない自信につながると感じるため、この案に賛成。
天野委員	学ぶことが目的ではなく、学んだ先に幸せな人生や社会が実現されることが大切で、それが表現されている案になっていると感じる。 あとは、これをいかに実現されるかが大切。
山本教育長	いろいろな協議や議論を繰り返してきた。豊田市らしい内容にできたと思っており、この案で進められると良い。 この内容を教育行政計画へ反映し、さらに学校教育課の毎年度の重点取組目標などへ反映して欲しい。そして学校経営の視点、各学校の教育目標へと段階的に落とし込み、それぞれの立場で取り組んでいただけると良い。
佐伯委員	今回、第9次総合計画の策定にもかかわったが、こども起点ということが大きい転換であり、その内容がしっかり反映されていると感じる。 一つ一つの言葉の意味や思いをみんなで真剣に考えて磨き上げることができ、感謝したいと思う。この内容を必ず実現していきたいと改めて感じる。

榊原委員	<p>いろいろな協議を経てポイントを押さえて作り上げることができた。自分が主体的に学んだ生きた知識は、これからの人生を生きていくうえで本当に大切な力になっていくと思う。</p>
原委員	<p>言葉としてはよく練られている。生涯学び続けることができるような要素や命を大切にするといった視点もしっかりと反映され、素晴らしい内容と思う。</p>
太田市長	<p>大綱はよいと思っている。この大綱が、教育委員会や学校で閉じてしまって、家庭や地域につながっていかない。そこを真剣に取り組もうとした場合、どうすればよいだろうか、と考える。この次の展開として、家庭や地域をどう巻き込んで、伝えていくのかという点が、大きな課題だと思っている。</p>